

院長にインタビュー

院長

まつもと よし ふみ
松本 圭史 先生

「仕事の喜びは、なんと言っても治療を終えた後の患者様の笑顔。」

東京都東大和市の「医療法人社団桜風会 松本デンタルオフィス」は、地域の皆様の“歯のホームドクター”を目指し、2016年に開院された歯科クリニック。松本先生は大学病院にて10年間勤務し、専門知識や技術を習得した気鋭の歯科医師です。

今回は院長である松本先生に、気になるインプラントのことやクリニックのことなどについてお伺いしました。

皆さんいきいきとした表情でメンテナンスに通われている

—— まずは初めの質問ですが、松本先生が考えるインプラントの最大のメリットとは何でしょうか？

まず、入れ歯等と比べて格段に噛めるようになることです。入れ歯だとお口の中で動くために食べにくく、硬い食べ物を避けるようになり軟食になります。するとタンパク質不足により咀嚼筋や全身の筋肉量が落ちていってしまいます。

もう1つのメリットは、**健康な歯を削る必要がない**ことです。歯を一度削ってしまうと再生することは



ありません。ブリッジ治療などでは健康な歯を削る必要があり、健康な歯を削ることで、その歯の強度は大きく弱まってしまうのです。

—— それでは、実際にインプラントにされた方のお声はいかがでしょう？

治療する前は、皆さん恐怖心や不安なこともありましたが、「**インプラント治療を受けて本当に良かった**」とっていただいております。よく噛めるようになったからなのか、皆さんイキイキとした表情でメンテナンスに通っていただいております。歯科医師としても嬉しい限りですね。

—— そのように満足度の高いインプラントですが、やはり「何となく怖い」というイメージを持つ方も多いと思いますが、実際のところどうでしょうか？

皆さんがなぜ恐怖心があるのか、それは治療内容を詳しく知らないからだと思います。実際にどのようなことをするのか、治療費はいくらかかるのかなど、**カウンセリングを行い詳しく説明させていただくと、ほとんどの患者様はインプラントは安全な治療なの**



が分かり、「安心しました」とおっしゃいますね。

それでも怖い方のために、静脈内鎮静※と言ってウトウトしている間に治療を終わらせる治療法もありますので、お気軽にご相談ください。

※眠くなりますが、意識がなくなり、自分自身で普段通りに呼吸ができ、呼びかけや刺激に対して反応可能な麻酔です。

チームで治療に当たること、より高水準の医療をご提供

—— 正しい情報を知ることが安心に繋がるのです。

ところで、松本先生は常に進化するインプラントの最先端技術や知識をどのように習得していらっしゃいますか？

まずは所属しているスタディグループで常に情報交換を行いながら、実践に活かしております。その他にも海外の学会に参加し研鑽を積んでおります。

医院内では、学んできたことを共有し若いドクターやスタッフの教育にも力を入れ、医院全体をアップグレードしていくというシステム作りを行っております。

—— では、患者様とコミュニケーションをとる上で心掛けている点はどういうところでしょうか？

当たり前のことかもしれませんが、患者様とのカウンセリングが非常に重要と考えております。患者様が緊張しないように、**診療室ではなく落ち着いた個室のカウンセリングルームで患者様とコミュニケーションを取る**ようにしています。

そこで、治療内容をお話するだけではなく**患者様の背景などもお聴きし**、患者様が緊張しないよう常に心掛けております。

—— 患者様の背景・・・、インプラントを正しく知ると同じように患者様のことも知るところが大切になってくるということなんですね。

それでは、松本先生。ズバリ！お聞きしますがクリニックの強みはどこでしょうか？

私は、以前大学病院で補綴医として10年勤務しておりました。そこで様々な先生方との出会いがあり、開院する時、「小さな大学病院」を作りたいと思いました。

現在は、**麻酔科医、口腔外科医、矯正医、根管治療専門医が在籍しており、チームで患者様の治療に当たることによって、より高水準の医療をご提供**できると考えております。それにより、難症例の治療も積極的に行っております。

—— ご多忙だとは思いますが、休日はどのように過ごされていますか？

あまり休みがないので、休日があれば家族で出かけることが多いです。仕事の時とのメリハリが大事だと考えておりますので、ゆっくり過ごすようにしております。

あとは、患者様にご迷惑がかからないよう体調管理をしっかり行っております。

—— それでは、最後に一つお伺いします。松本先生にとって、この仕事の喜びとは何でしょうか？

なんと言っても、治療を終えた後の患者様の笑顔です。なかでもインプラント治療でよく噛めるようになった患者様は、皆さんイキイキとして元気になっていらっしゃいます。

患者様の生活の質の向上に貢献できたと感じた時は、自分自身も大きな喜びを感じ、歯科医師をやっていて良かったなと思います。

